

人権だより

考えよう 相手の気持ち そだてよう おもいやりの心

市川市立第三中学校
令和7年10月17日発行
(第6号)

「『誰か』のこと じゃない」～人権チェックを受けて～

右のポスターを見たことはありますか？法務省が毎年作成している「啓発活動重点目標・調査救済制度ポスター」です。三中では教室棟2階のコンピューター室前に貼ってあります。以下にホームページに書かれている説明文を抜粋します。

法務省の人権擁護機関では、その時々の社会情勢や人権侵犯事件の動向を勘案して、年度を通じて特に重点的に啓発するテーマを定め、共通の目標の下に組織を挙げて人権啓発活動を展開しています。

令和7年度の啓発活動重点目標は、引き続き、「『誰か』のことじゃない。」と定めました。



趣旨

いじめや虐待、体罰、性犯罪・性暴力など、こどもが被害者となる事案が後を絶ちません。こどもの人権をめぐる状況は依然として深刻です。悩みを抱えながらSOSを発信できていないこどもに気付きを促し、その声に耳を傾け、必要な支援を行うことで、社会全体がその健やかな成長を後押ししていかなければなりません。引き続き、こどもが、権利を持つ一人の人間として最大限尊重される社会の実現を目指した啓発活動にしっかりと取り組みます。

インターネット上の誹謗中傷や、差別を助長するような情報の発信といった問題の解消も、引き続き取り組むべき課題です。(中略)

社会には、様々な人権課題が依然として存在していますが、これらは決して、自分以外の「誰かのこと」、「自分には関係のないこと」ではありません。法務省の人権擁護機関では、本年度も、誰もが人権問題を自分や自分の身近な人の問題として捉え、互いに人権を尊重し、他人の人権にも配慮した行動をとることの大切さを意識するよう、「『誰か』のことじゃない。」を啓発活動重点目標に掲げ、SNSを含むインターネットの積極的な活用、企業による人権尊重への取組に対する支援など、受け手を意識しながら、内容・方法共に工夫を凝らした各種啓発活動を幅広く、効果的に展開します。

三中では9月から全学級で人権チェックをスタートしました。これは日ごろ見過ごしがちな皆さんにとって身近かつ、人権に関わる行動がリストになっています。毎月末行います。このリストが全て○になるように意識してみましょう。反省を以下に一部紹介します。合唱コンクールの取り組みでは仲間との関わりが多くなるので、お互いが気持ちよく過ごせると良いですね。

- 否定的な言葉から話すことがあった。意見として言ったつもりでもそう捉えられない可能性を考えて、もう少しやさしいことばで意見しようと思う。
- 自分自身が言われてうれしくないことは人には言わないようにした。9月になり、友達関係がより深まり、少し気がゆるみそうになったけど緩まないように意識した。
- 楽しいこと、嫌なことがあります、決して他人にぶつけることなく、他人の人権も大切にすることができた。
- いじりといじめの境目って難しい。好きなことを否定だけは絶対にしない。
- 家族も大切にしたい。
- なにがダメか、なにが良いか考えて一線を超えないように意識した。
- SNSなどは自分がやられたことがあるので、人にはやらないように気を付けた。
- 人の嫌がることはしていないつもりだったけど、これを見ると△が少しあるので、○にできるよう頑張りたいです。
- 先生にため口だったり暴言を吐いている人が多い。
- からかはつたつもりなのに、相手を傷つけてしまったとかありそだから気を付けたい。
- 普段意識していないことでも人権侵害になってしまうと感じた。
- 「親しき仲にも礼儀あり」という言葉を意識していきたい。
- 身体的特徴はその人のせいではないのに、言ってしまった。
- 声が大きく、うるさいと思わせてしまうことがあったと思う。注意しあって減らしたい。
- 人に嫌な思いをさせない。
- ほかの人が嫌がることを何でやめなかつたんだろうと思った。
- 自分は当てはまるものはなかつたが、他人事のようにとらえずに、左のような行為が見られたら止めていきたい。
- 6、7、11、12、15が身近で見られるから怖いと感じた。
- 悪いように言わないようにした。悪口じやなく、「～されて嫌だったんだ」の言い方に変えるように意識した。
- 自分が関係ないのに巻き込まれるのが嫌だった。
- 怒りの沸点に到達すると強い口調になつてしまふ。他人の個性などはバカにしない。
- 気づいたら言つてしまっていた。発言を意識して生活する。
- 「キモイ」は言いがちだと思った。
- 仲の良い人相手だと、お互いにバカにしあつてゐるところがあるけど、本当は傷ついているかもしれないから気を付けようと思った。